

第21回次世代を担う若手のためのファーマ・バイオフィォーラム 2022

プログラム 1 日目 9月3日(土) A会場(宮田専治記念ホール)

9:00~10:20	座長:厚味 巖一(帝京大)、白根 道子(名古屋市立大)
session A1	アドバイザー:泉川 桂一(明治薬科大)、加藤 百合(九州大)、川名 裕己(東京大)、 紅林 佑希(静岡県立大)、南 敬(熊本大)
9:00	1A1 刺激性微粒子による炎症応答を阻害する生薬由来化合物の解析 生駒 健太 M2 大阪大・生体応答制御学
9:20	1A2 制御性T細胞表面シアリルルイスX糖鎖抗原の炎症における役割の解明 大石 かなえ M1 千葉大・免疫微生物学
9:40	1A3 中心小体 de novo 形成過程の超解像解析 工 風清 M2 東京大・生理化学
10:00	1A4 $\omega 6/\omega 3$ 脂肪酸バランスの変動が母性行動に与える影響とその分子機構 吉田 莉奈 B6 熊本大・薬学生化学

休憩(10:20~10:35)

10:35~12:15	座長:田中 智之(京都薬科大)、松沢 厚(東北大)
session A2	アドバイザー:岸本 直樹(熊本大)、齊藤 達哉(大阪大)、畠 星治(東京大)、 原 雄二(静岡県立大)、松永 司(金沢大)
10:35	1A5 Tudorドメインタンパク質 SPF30とMTR4-エキソソームの相互作用による テロメラーゼ RNA 生合成の制御 宮尾 宗太郎 D4 明治薬科大・生体分子学
10:55	1A6 ニューロトロフィン3の過剰発現が海馬に与える影響の探索 笠倉 奈々美 D1 東京理科大・発生・再生工学
11:15	1A7 生活習慣病はアルツハイマー病発症に関わる非ヒト型糖分子の脳内蓄積を促進する 中尾 初音 M1 静岡県立大・生化学
11:35	1A8 末梢循環障害におけるTRPC6チャネルの役割 酒田 康介 M2 九州大・生理学
11:55	1A9 リソソーム性ノイラミニダーゼ1欠損症に対する効率的な遺伝子治療 三好 瑞希 M2 徳島大・創薬生命工学

昼休み(12:15~13:15)

生物系薬学部会の先生方のみ・世話人会 12:20~13:05 (研究棟会議室)

13:15~14:55 session A3	座長:三隅 将吾(熊本大)、長田 茂宏(和歌山県立医大) アドバイザー:荒木 信(明治薬科大)、磯部 洋輔(理研)、竹内 英之(静岡県立大)、仁科 博史(東京医科歯科大)、長谷川 潤(神戸薬科大)
13:15 1A10	ヒト正常二倍体細胞での CRISPR ノックインにおける長鎖 DNA ドナーの比較検討 馬淵 陽 M2 東京大・生理化学
13:35 1A11	免疫チェックポイント分子 PD-1/PD-L1 の相互作用を阻害する低分子抗体の評価 亀澤 世奈 D2 熊本大・生命分析化学 演題取り消し
13:55 1A12	酸性リン脂質フリッパーゼ欠損による神経変性疾患の発症機構と、その治療法に関する研究 梅村 悠太 M2 名古屋市立大・病態生化学
14:15 1A13	海馬歯状回におけるデスモソーム構成因子デスモプラキンの機能解明 西本 有希 M2 東京理科大・生体機能制御学
14:35 1A14	繊毛内タンパク質輸送の制御における CCRK/CDK20、BROMI/TBC1D32、FAM149B1/JBTS36 の共役する役割 里田 裕紀 M2 京都大・生体情報制御学

休憩(14:55~15:10)

15:10~16:50 session A4	座長:木村 郁夫(京都大)、紺谷 圏二(明治薬科大) アドバイザー:足立 知也(大塚メディカルデバイス)、川名 裕己(東京大)、小藤 智史(東京医科歯科大)、武田 弘資(長崎大)、堀 昌平(東京大)
15:10 1A15	時計遺伝子 Bmal1 による脂肪細胞ベージュ化の制御 石井 宏剛 D2 日本大・健康衛生学
15:30 1A16	内皮特異的な転写因子 ERG の安定発現による腫瘍血管の正常化と抗がん剤有効性の向上 荒田 佳菜子 M2 熊本大・分子血管制御
15:50 1A17	caspase-3 の新たな非典型的機能としてのパータナトス促進作用の解明 濱野 修平 M2 東北大・衛生化学
16:10 1A18	HIV-1 感染に伴う好氣的解糖依存的 HIV-1 複製調節タンパク質の探索 阿部 人和 M2 熊本大・環境分子保健学
16:30 1A19	SARS-CoV-2 侵入阻害化合物探索のための実験系の構築 村江 真奈 M2 感染研・細胞化学部/東京理科大

休憩(16:50~17:05)

17:05~18:45	座長:成田 正見(小野薬品)、西田 基宏(九州大)
session A5	アドバイザー:厚味 徹一(帝京大)、長田 茂宏(和歌山県立医大)、 櫻井 宏明(富山大)、藤森 功(大阪医科薬科大)、前川 大志(慶應大)
17:05 1A20	<p>パルミトイル化修飾を介した ARL15 の膜局在化機構の解析</p> <p>茅野 剛史 M2 明治薬科大・生化学</p>
17:25 1A21	<p>新規短鎖脂肪酸受容体 Olfr78 を介した代謝調節機構の解明</p> <p>西田 朱里 D1 京都大・神経機能制御学</p>
17:45 1A22	<p>脂質輸送タンパク質 PDZD8 によるリポファジー制御機構</p> <p>向江 凧 B4 名古屋市立大・分子生物薬学</p>
18:05 1A23	<p>酸化ストレス誘導性パータナトスにおける超硫黄分子の抑制効果</p> <p>山田 裕太郎 M1 東北大・衛生化学</p>
18:25 1A24	<p>アディポネクチン受容体はホスホリパーゼ A2 活性によりリン脂質の不飽和化に 寄与する</p> <p>八木 優太郎 M1 東京大・衛生化学</p>

プログラム2日目
9月4日(日) A会場(宮田専治記念ホール)

9:00~10:40	座長:川島 博人(千葉大)、原 雄二(静岡県大)
session A6	アドバイザー:足立 知也(大塚メディカルデバイス)、加藤 洋平(京都大)、小藤 智史(東京医科歯科大)、紺谷 圏二(明治薬科大)、服部 光治(名古屋市立大)
9:00 2A1	ミクログリアによる Amyloid- β 凝集体貪食機構の解明 恵谷 隼 B5 東京大・機能病態学
9:20 2A2	細胞膜上プロゲステロン受容体を介した代謝機能制御 渡辺 啓太 研究員 京都大・生体システム学
9:40 2A3	脱ユビキチン化酵素 USP17 は c-Myc タンパクの安定化を介して細胞増殖と解糖系を亢進する 長坂 真衣 D3 名古屋市立大・細胞情報学
10:00 2A4	グリオブラストーマ治療標的としての SeP/ApoER2 経路 杉浦 ひかり B6 東北大・代謝制御薬学
10:20 2A5	細胞外栄養素は新たに産生される SARS-CoV-2 の感染性を変化させる 佐々木 駿介 M1 熊本大・環境分子保健学

休憩(10:40~11:00)

11:00~12:20	座長:齊藤 達哉(大阪大)、富田 泰輔(東京大)、
session A7	アドバイザー:榛葉 繁紀(日本大)、中山 和久(京都大)、成田 正見(小野薬品)、三隅 将吾(熊本大)、山村 寿男(名古屋市立大)
11:00 2A6	チロシンキナーゼ阻害薬による致死性副作用発症メカニズムの解明 高野 紗彩 B5 東北大・衛生化学
11:20 2A7	腎臓初期発生におけるプロスタグランジン I2 受容体 IP の寄与 渡邊 尚幸 M2 熊本大・薬学生化学
11:40 2A8	核小体 AAA-ATPase NVL2 と結合する SR タンパク質 CWF19L2 のリボソーム生合成および mRNA スプライシングにおける機能 大島 廉太 D1 明治薬科大・生体分子学
12:00 2A9	核膜崩壊時の特徴的な中心体配置の分子機構の解明 小森 琢磨 D1 東京大・生理化学

プログラム 1 日目
9 月 3 日(土) B 会場 (大講義室)

9:00~10:20	座長:仁科 博史(医科歯科大)、森岡 弘志(熊本大)
session B1	アドバイザー:井上 靖道(名古屋市立大)、河野 望(東京大)、坂本 多穂(静岡県立大)、瀬木(西田) 恵里(東京理科大)、告 恭史郎(山口東京理科大)
9:00 1B1	GPR35 を介した即時型アレルギー応答の抑制 岡 真純 D3 京都薬科大・薬理学
9:20 1B2	低光毒性なライブセルイメージングを可能にするイメージングバッファの最適化とその定量的評価 原田 知季 M2 東京大・生理化学
9:40 1B3	皮膚炎の進行に伴う脂肪酸代謝変動とその役割の包括的解析 藤波 和夏 M1 慶應大・代謝生理化学
10:00 1B4	肝臓のフェロトーシス感受性におけるセレノプロテイン P 発現の意義 名取 萌花 B6 東北大・代謝制御学

休憩(10:20~10:35)

10:35~12:15	座長:櫻井 宏明(富山大)、伊藤 孝司(徳島大)
session B2	アドバイザー:五十里 彰(岐阜薬科大)、杉本 幸彦(熊本大)、嶋本 顕(山口東京理科大)、古田 和幸(岡山大)、松原 守(岐阜医療科学大)
10:35 1B5	ノロウイルス感染に関与する糖脂質の探索とその機能解析 塚本 文汰 M1 静岡県立大・生化学
10:55 1B6	ヒト細胞において中心体性の極と非中心体性の極を統合し、二極紡錘体を形成するメカニズム 深作 明日香 B6 東京大・生理化学
11:15 1B7	変形性膝関節症と電位依存性 K ⁺ チャンネル Kv1.6 による膜電位制御の関係 倉田 朋 M1 名古屋市立大・細胞分子薬効解析学
11:35 1B8	マスト細胞の活性化に関与するエポキシ化 ω 3 脂肪酸の作用標的の探索 岩田 紘歩 M1 東京大・衛生化学
11:55 1B9	心筋梗塞モデルにおいて LPA3 シグナルは心臓保護的に機能する 中村 真基 M1 東京大・衛生化学

昼休み(12:15~13:15)

生物系薬学部会の先生方のみ・世話人会 12:20~13:05 (研究棟会議室)

13:15~14:55 session B3	座長:青木 淳賢(東京大)、瀬木(西田) 恵里(東京理科大)、 アドバイザー:遠藤 智史(岐阜薬科大)、加藤 洋平(京都大)、 川島 博人(千葉大)、國澤 純(医薬基盤研)、佐藤 英介(鈴鹿医療科学大)
13:15 1B10	慢性腎臓病における Keap1-Nrf2 タンパク質間相互作用阻害薬の有用性 堀園 潤 M2 熊本大・遺伝子機能応用学
13:35 1B11	骨格筋幹細胞における細胞力覚機構の役割 平野 航太郎 D3 静岡県立大・統合生理学
13:55 1B12	WDR74 モジュールと MTR4-エキソソームの相互作用およびリボソーム生合成 における機能解析 廣岡 侑也 D1 明治薬科大・生体分子学
14:15 1B13	転写共役因子 YAP 活性化肝細胞排除機構の解明 遠藤 賢生 M2 東京医科歯科大・発生生物学
14:35 1B14	Oxidative glutathione rescues Drp1 depolysulfidation-mediated mitochondrial hyperfission and cardiac vulnerability by electrophilic glutathionylation at Cys624 Xiaokang Tang M1 総研大・生理学 / 九州大・生理学

休憩(14:55~15:10)

15:10~16:50 session B4	座長:黒川 洵子(静岡県大)、中山 和久(京都大) アドバイザー:斎藤 芳郎(東北大)、白根 道子(名古屋市立大)、 知念 拓実(東京大)、月本 準(徳島大)、長浜 正巳(明治薬科大)
15:10 1B15	短鎖脂肪酸はヒストン脱アセチル化酵素の阻害を介して樹状細胞の樹状突起 伸長を誘導する 稲本 拓歩 M1 岡山大・分子生物学
15:30 1B16	肝星細胞におけるイオンチャンネル電流解析 川田 成紀 M2 名古屋市立大・細胞分子薬効解析学
15:50 1B17	TAB1 チロシンリン酸化に関わる分子機構 夫沼 逸美 B6 富山大・がん細胞生物学 演題取り消し
16:10 1B18	酸化脂肪酸アシル化の分子機序と膜ストレス応答の制御に関する研究 古川 裕輝 M2 慶應大・代謝生理化学
16:30 1B19	膜脂質環境の動的変化によるイオンチャンネル TRPV4 活性制御機構の解析 桑島 佑太郎 D2 慶應大・代謝生理化学

休憩(16:50~17:05)

17:05~18:45 session B5	座長:小泉 智信(アステラス製薬)、南 敬(熊本大) アドバイザー:青木 淳賢(東京大)、伊藤 孝司(徳島大)、加藤 百合(九州大)、 平田 祐介(東北大)、紅林 佑希(静岡県立大)
17:05 1B20	ディープラーニングを活用したミトコンドリア形態解析手法の構築 馬場 大暉 M2 長崎大・細胞制御学
17:25 1B21	MHC クラス II 分子は CD4T 細胞非依存的に大腸 CD8 T 細胞の活性化を制御する 千菊 智也 M2 東京大・免疫・微生物学
17:45 1B22	NOTCH3CADASIL 型変異タンパク質の蓄積に及ぼす糖鎖の影響 鈴木 翔大 D2 千葉大・生化学
18:05 1B23	ヒト iPS 細胞由来心筋細胞の β アドレナリン受容体シグナル調節の解析 國井 渉 B6 静岡県立大・生体情報分子解析学
18:25 1B24	線虫をもちいた生殖老化に寄与する新規因子の探索と解析 日高 瞳 M2 東京大・生理化学

プログラム2日目
9月4日(日) B会場(大講義室)

9:00~10:40	座長:杉本 幸彦(熊本大)、堀 昌平(東京大)	
session B6	アドバイザー:伊藤 素行(千葉大)、長浜 正巳(明治薬科大)、 西田 基宏(九州大)、松沢 厚(東北大)、森岡 弘志(熊本大)	
9:00	2B1	ムンプスウイルスのシアリダーゼ活性阻害剤に対する耐性化機構の解明 小長谷 皇文 B5 静岡県立大・生化学
9:20	2B2	血管平滑筋細胞の筋小胞体-ミトコンドリア連関におけるミトフュージン 2 の役割 稲垣 奏 D4 名古屋市立大・細胞分子薬効解析学
9:40	2B3	がんアジュバント薬の開発を指向したオートファジー阻害剤の創製研究 工藤 優大 D1 岐阜薬科大・生化学
10:00	2B4	Dynamin 依存性エンドサイトーシス阻害はマクロピノサイトーシス活性化を介して AAV ベクターの細胞内取り込みを促進する 大西 恭弥 D3 徳島大・創薬生命工学
10:20	2B5	膜脂質異常による Ire1 活性化における Vps34 の機能解明 岩田 紬 M1 東京大・衛生化学

休憩(10:40~11:00)

11:00~12:20	座長:斎藤 芳郎(東北大)、竹内 英之(静岡県立大)	
session B7	アドバイザー:岸本 直樹(熊本大)、小泉 智信(アステラス製薬)、 河野 望(東京大)、田中 智之(京都薬科大)、松原 守(岐阜医療科学大)	
11:00	2B6	小頭症原因遺伝子 DONSON による中心体数制御機構の解析 松橋 恭平 D2 東京大・生理化学
11:20	2B7	繊毛内逆行輸送モーターのダイニン 2 複合体の IFT-B 複合体との相互作用に依存 する順行輸送は繊毛機能にとって不可欠である 冷水 竣哉 M2 京都大・生体情報制御学
11:40	2B8	胎盤形成段階の細胞合胞体化に着目したナノマテリアルの影響評価 坂橋 優治 D3 大阪大・毒性学
12:00	2B9	心臓 TRPC6 チャンネルの生理的役割 古本 裕香 M1 九州大・生理学